



刻歩極頂

長井市立西根小学校
学校だより第16号
令和5年12月21日

「刻歩極頂」(こくほきょくちょう) 一歩一歩の歩みを大切に 頂上にたどり着く
長井市初代名誉市民 孫田 秀春 博士 揮毫

素晴らしい成長の一年を新年へとつなぐ

保護者の皆様、地域の皆様、今年も本校の教育活動やPTA活動に多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。子供たちの素晴らしい成長の一年でした。ここで、今年の十大ニュースを校長の誠心勝手に編集により(お許しを)、順不動で発表いたします。皆様、どうぞよいお年を。

<十大ニュース(順不同)>

- ◎ 交通安全自転車大会で山形県大会2年連続優勝、個人も上位独占。ついに全国大会出場!
- ◎ どの学年もしっかりした学習発表会。一人一人の成長が光る学習発表会を今年も地域に発信。
- ◎ 5年生の「西根米」で作った6年生のお弁当は見事! 1~5年生のおにぎりも大好評!
- ◎ 質の高い修学旅行、社会科見学、町めぐりはじめ、どの学年も見学学習で大きな成果。
- ◎ 葉山登山、実習田で米づくり、畑でサツマイモづくりなど、今年も地域の先生のご指導に大感謝!
- ◎ 地域の文化(縄文太鼓、昔語り、大明神ザクラ等)を学び、体験し、引き継がれる。
- ◎ 感染症に負けないで取り組んだ運動会。児童役員の主体的な取り組みに大きな成長!
- ◎ 西根小の子供たちの掃除の見事さ、PTA作業での保護者の見事な作業。感心させられます。
- ◎ 6年生のDMFT指数(永久歯のむし歯の本数一人平均)が驚愕の0.19。素晴らしい!
- ◎ 「学校研究発表会」大成功。子供も教職員も「チーム西根小」一丸となって取り組んだ成果!

<もっとあります編>

- ◎ 保健室前の「あったかの木」が何度も満開。子供たちの入賞も多数。子供たち、素晴らしい!
- ◎ 校長と職員と学校薬剤師さんによる「やってみよう」「ノクターン」「アイドル」「はじめの一步」等、リコーダーとフルートとピアノの伝説の(?)ミニコンサート開催される。
- ◎ 子供たちの学び合う声、元気な外遊びの声、朝の会の歌声、熊鈴の音……、地域に響き渡る。

【おめでとう】(敬称略、これから賞状が届くものも含む)

第18回 長井支部 けん玉ペインティングコンテスト

長井市教育長賞	2年	入選	1年
入選	1年	入選	4年

第22回 人権啓発標語コンテスト 「やさしさは いじめと差別をなくすカギ」

	入選	6年
--	----	----

令和5年度 「いじめ防止」標語 「あったかい 言葉をつかえば いじめゼロ」

	長井市優秀作品	5年
--	---------	----

第73回 “社会を明るくする運動”作文コンテスト 努力賞 6年

令和5年度 「ボランティア体験作文」

	入選	5年
	入選	6年

令和5年度 長井「小さな親切」の会作文コンクール

	入選	6年
--	----	----

令和5年度 「小さな親切」実行章受章者

1年	2年	3年	4年
5年	6年	6年	

＜皆様、どうぞよいお年を＞

12/22（金）～1/8（月）は冬季休業になります。

閉庁期間（12/28～1/4）の（12/28と1/4）緊急連絡は、長井市教育委員会（0238-82-8204）へ、（12/29～1/3）は、別文書「年末年始休業のお知らせとお願い」に記された連絡先へお願いいたします。

1月9日（火）の3学期始業式に、みんな元気に会えますように。

1月の予定

1	月	元日	11	木	避難訓練	21	日	
2	火		12	金	5・6年スキー（午前）	22	月	
3	水		13	土		23	火	全校テスト（算）
4	木	閉庁 年始休業	14	日		24	水	
5	金	年始休業	15	月	1・4年スキー（午前）	25	木	2・3年スキー（午前） 新入児保護者説明会
6	土		16	火	2・3年スキー（午前）	26	金	委員会活動（4年見学）
7	日		17	水	5年スキー（午前）	27	土	
8	月	成人の日	18	木	中学校説明会 いなほ号 6年プログラミング学習	28	日	
9	火	3学期始業式 下校指導	19	金	1・4年スキー（午前） 6年蔵王スキー	29	月	
10	水	書き初め会	20	土	（市書き初め大会）	30	火	
						31	水	

＜ミニコラム＞ 子供の心とことばを育てるために（その19）

新しい年を迎える

早朝に若水を汲む。新しい手桶とかバケツに松と昆布を飾って、台所に引き入れられた「流し」から流れる水を汲むのである。朝食は、当時家族みんなが自分のお膳を持っていたから、めいめい鮭か鱒の切身をつけてもらい蕪汁にとろろ飯か納豆飯が多かった。ひょっとしていいことがあるようにと縁起をかついでひょう干しを食べる家なども多かった。冬分の常食はかて飯が主だったが、元日だけは白いご飯だった。

正月二日は商店の初売り、そして農家の人たちの買い初めである。どの店も初売り出しの景品がつき、お客も日常買いつけの店へは必ず何か一品二品買いに行く。当時の景品には必ずちり紙がついた。そのちり紙で、夜、舟を折り枕に敷いて寝て、よい初夢を見たいと願ったものである。

三日あたりから次第に年始廻礼が始まる。「お正月礼」だ。若いお嫁さんなどは夫婦連れで実家へ泊りに行くが、一般親族の間柄では、自家でついた餅を進物に持って一食ご馳走になってくる。酒か甘酒と、その家の餅を焼いて雑煮か、きな粉餅などにご馳走になる。おかずに数の子豆、からかい煮、あるいは鮫やきなどがついた。親類中廻るのでこれが六日ごろまで続く。その一方返礼も来るから、なかなか忙しい。

七日は七草で、野菜の数々を煮て食べる簡単な行事の家が多かったが、神に供えたおみだまを粥にして食べる家もあったようである。

（『西根の歴史と伝承』第三集、西根史談会、昭和62年より、「年中行事と村の生活」を引用）

上掲書で手塚征三氏の書かれた文章です。今から約百年前の大正時代のお正月の生活ぶりが記載されています。どの行事にも必ず人々の願いや思いがあり、家族と親族との関わりを大切にしています。

